

保育所を活用した生活不活発病防止給食受け取りシステムの構築

東北発

岩手県

宮城県

福島県

ほっこり食事プロジェクト

平成27年3月



目次

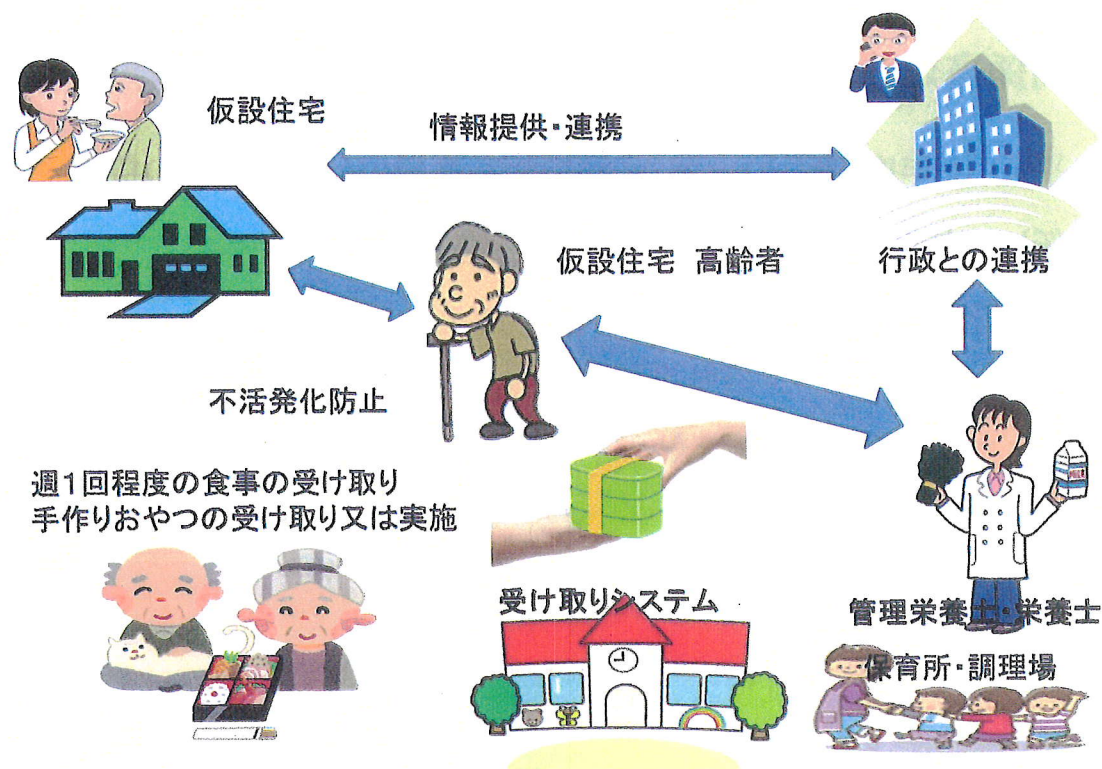
I はじめに	2
II 報告概要	4
III 実施体制	6
IV 実施・活動記録	7
<岩手県> (福)野田村保育会 野田村保育所	10
<宮城県> (福)千代福社会 あっふる保育園	14
学校法人 尚絅学院大学附属幼稚園	18
<福島県> (福)いわき福音協会 小島保育園	20
V 今後の活動にむけて	36
VI 関係書類	
・平成 26 年度「新しい東北」先導モデル事業の公募についての概要	38
・新しい東北先導モデル事例集	40
・栄養手帳、配布物	42
VII ほっこり話	44

I はじめに

管理栄養士等による高齢者への栄養と食支援体制の構築

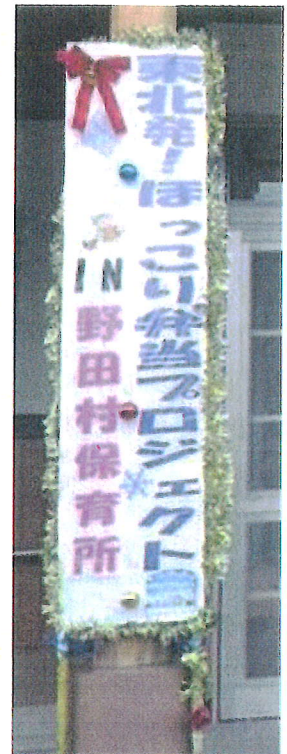
公益社団法人日本栄養士会は、栄養と食を通じて、人が健やかにより良く共に生きるを支援する栄養の専門職団体であり、東日本大震災の発災直後より、被災地で栄養・健康支援を継続している。被災地の仮設住宅では高齢者の「孤食」「低栄養」「生活不活発病（廃用症候群）」「認知症」などの問題が生じており、全国的にみても高齢者には同様の問題が見受けられる。2012年の食育白書において、女性の70歳以上で1日のすべての食事を1人で食べる頻度は「ほとんど毎日」が約2割という結果がある。「孤食」による調理意欲の低下、栄養バランスの乱れ、室内に引きこもることによる生活不活発病や人とのふれあいの欠如等、高齢者にとって要介護状態につながってしまう大きな問題が見受けられる。

どうしたら高齢者が生き生きと地域で生活し、栄養バランスの良い食事を楽しく食べ、社会参加、健康増進が図れるだろうか。そこで、従来の弁当宅配形式ではなく、地域の保育所を訪問し、園児や保育者等と一緒に食事や会話を楽しむ、地域社会とのつながりを築く「ほっこり食事プロジェクト（ほいくしよをつうじてこうれいしゃがりようする食事プロジェクト）」を企画した。仮設住宅の高齢者に声掛けし、保育所に迎え、園児と一緒に伝承遊びや、餅つき大会、芋煮会等のイベントの手伝いをしていただき、会食する。食事前には必ず手を洗うこと、手と手を合わせて感謝して食事を頂くこと、好き嫌いなくバランスの良い食事をとること、旬の食材から季節を感じることを、「おいしいね」とお互いに会話を楽しみながらの共食の場は、まさに食育の実践である。その後、高齢者の参加者には管理栄養士等による栄養相談、体重計測、血圧測定、健康チェック等を実施する。





大黒舞 in 野田村保育所



「ほっこり、にっこり」笑顔がいっぱい

当プロジェクトの実施により保育所を利用した高齢者と園児とのふれあい、食事（弁当）を受け取りに行くことでの外出の機会の提供と、共食による孤食防止、食を通じた楽しみ、関わる者みんなの笑顔。高齢者の生活不活発病、認知症、介護予防等。高齢者の社会参加、生きがい、役割、気づき。管理栄養士等による栄養と食のサポート、見守り、相談相手。地域の医療・介護等の専門職種間の連携。栄養ケア・ステーションの活用等、保育所を中心に地域生活支援・健康づくりの拡充につながっている。

今後は、被災地域の仮設住宅のみならず、全国の保育所や栄養ケア・ステーションを拠点として、東北発信の全国に向けた事業拡大を図る。更に高齢者に限らず、妊産婦や子育てママを対象とした当該プロジェクトの拡充により、全てのライフステージにおける食育等への取組を支え、社会環境を整えていきたいと考えている。

本事業につきましては復興庁「新しい東北」先導モデル「東北発 ほっこり食事プロジェクト」としてまとめさせて頂きましたのでご高覧下されば幸いに存じます。

今後とも日本栄養士会として関係者の方々のご協力を得て、本プロジェクトの全国への拡充を図りたいと考えております。

最後になりましたが、本事業の実施にあたり、復興庁をはじめとした関係団体の皆様及び温かいご指導ご支援いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

公益社団法人日本栄養士会 常務理事 下浦 佳之

II 報告概要

保育所を活用した生活不活発病防止給食受け取りシステムの構築

(岩手県・宮城県・福島県)

<ほっこり食事プロジェクト>

ほいくしょをつうじてこうれいしゃがりよする食事プロジェクト

取組全体の目的・概要:

仮設住宅における高齢者の生活不活発病(廃用症候群)や、健康管理への不安、孤独等多くの問題に対処するため、適切な食事管理と見守り、相談相手として、栄養ケア・ステーションを通じた保育所給食を利用した共食や食事の受け取りシステムを構築する。

取組の先導性:

自宅への宅配ではなく、食をキーワードに保育所を訪問することで、外出の機会を確保する点や、幼児や保育士等とのふれあいから社会との繋がりを築く点が先導的である。また、全国の高齢者に共通する課題への取組でもある。

主な実施取組の内容

保育所の選出

挨拶・視察

運営検討会の開催

岩手(9/24~)
宮城(9/24~)
福島(10/8~)

企画・評価委員会

第1回(10/23)
第2回(12/26)
第3回(3/9,17)

取組① 岩手県【野田村保育所】

○対象: 泉沢地区応急仮設住宅
野田村野田仮設団地

○スケジュール:

第1回目: 平成26年 11月11日(火)参加者 13名
第2回目: 平成26年 12月16日(火)参加者 16名
第3回目: 平成27年 1月20日(火)参加者 6名



**取組②宮城県
【あっぷる保育園】**

○対象: 若林区下荒井町内

○スケジュール:

第1回目: 平成26年10月15日(水)参加者 13名

第2回目: 平成26年11月 6日(木)参加者 9名



【尚綱学院大学附属幼稚園】

○対象: 愛島地区仮設住宅

○スケジュール:

第1回目: 平成27年 3月3日(火)参加者20名



取組③福島県 【小島保育園】

○対象: 楢葉町作町仮設住宅

○スケジュール:

第1回目: 平成26年11月28日(金)参加者 12名

第2回目: 平成26年12月14日(日)参加者 5名

第3回目: 平成27年 1月22日(木)参加者11名



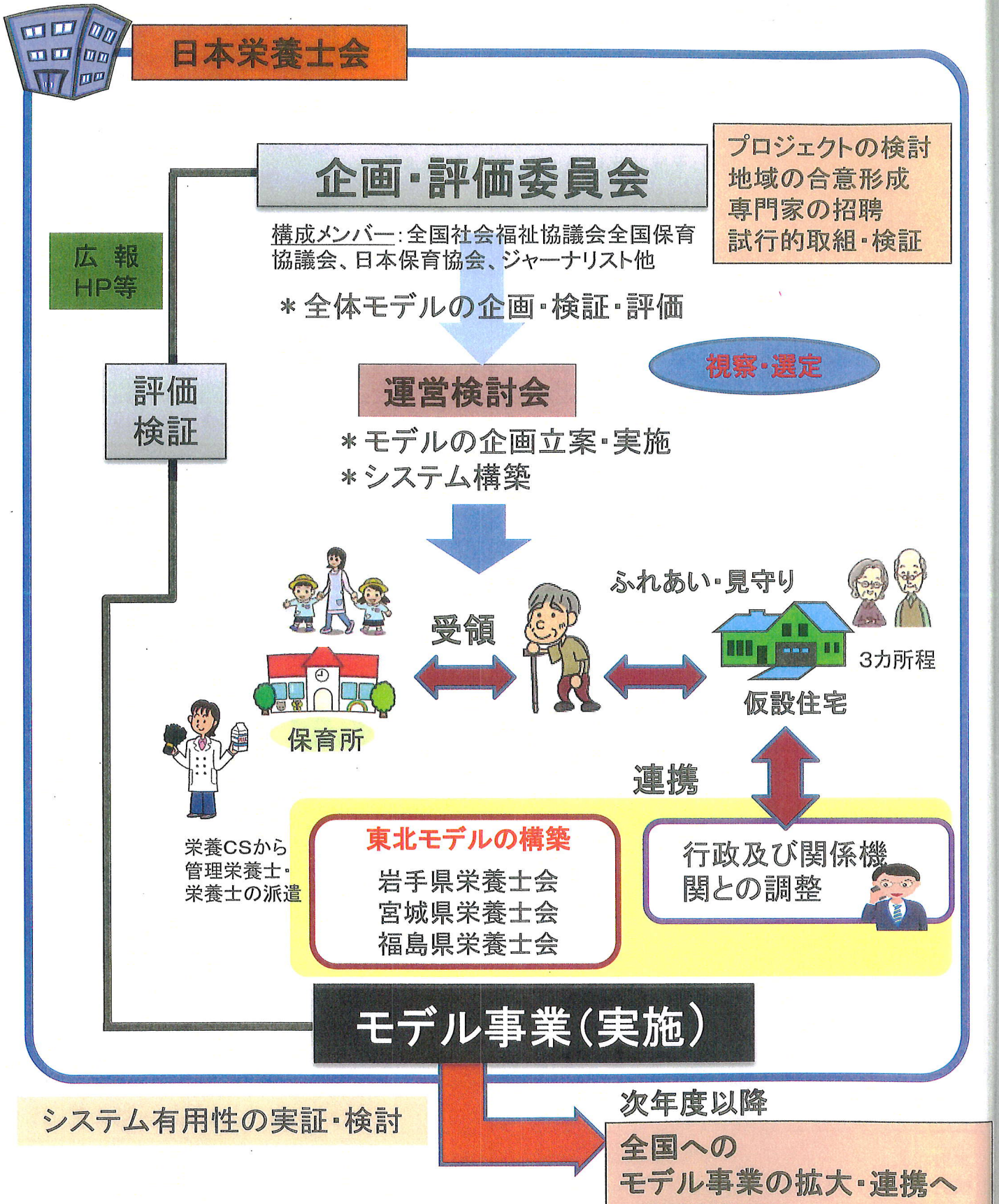
得られた成果

被災3県の4か所の保育園・幼稚園で、仮設住宅の高齢者が保育園等を訪問し、子どもと一緒に食事を取る事業を計9回実施し(延べ105名参加)、①保育所を利用した保育園児と高齢者とのふれあい、②仮設住宅における独居高齢者の生活不活発病、認知症、介護予防等、③保育所を拠点とした外出の機会の提供と共食による孤食防止、食を通じた楽しみ、笑顔、④高齢者の社会参加、生きがい、役割、気づき、⑤管理栄養士による栄養と食のサポート、⑥地域の医療、介護等の専門職種間の連携、⑦栄養ケア・ステーションの活用、等の地域環境、実施施設による取組パターンの事例を得ることができた。

今後に向けた課題・活動の見通し

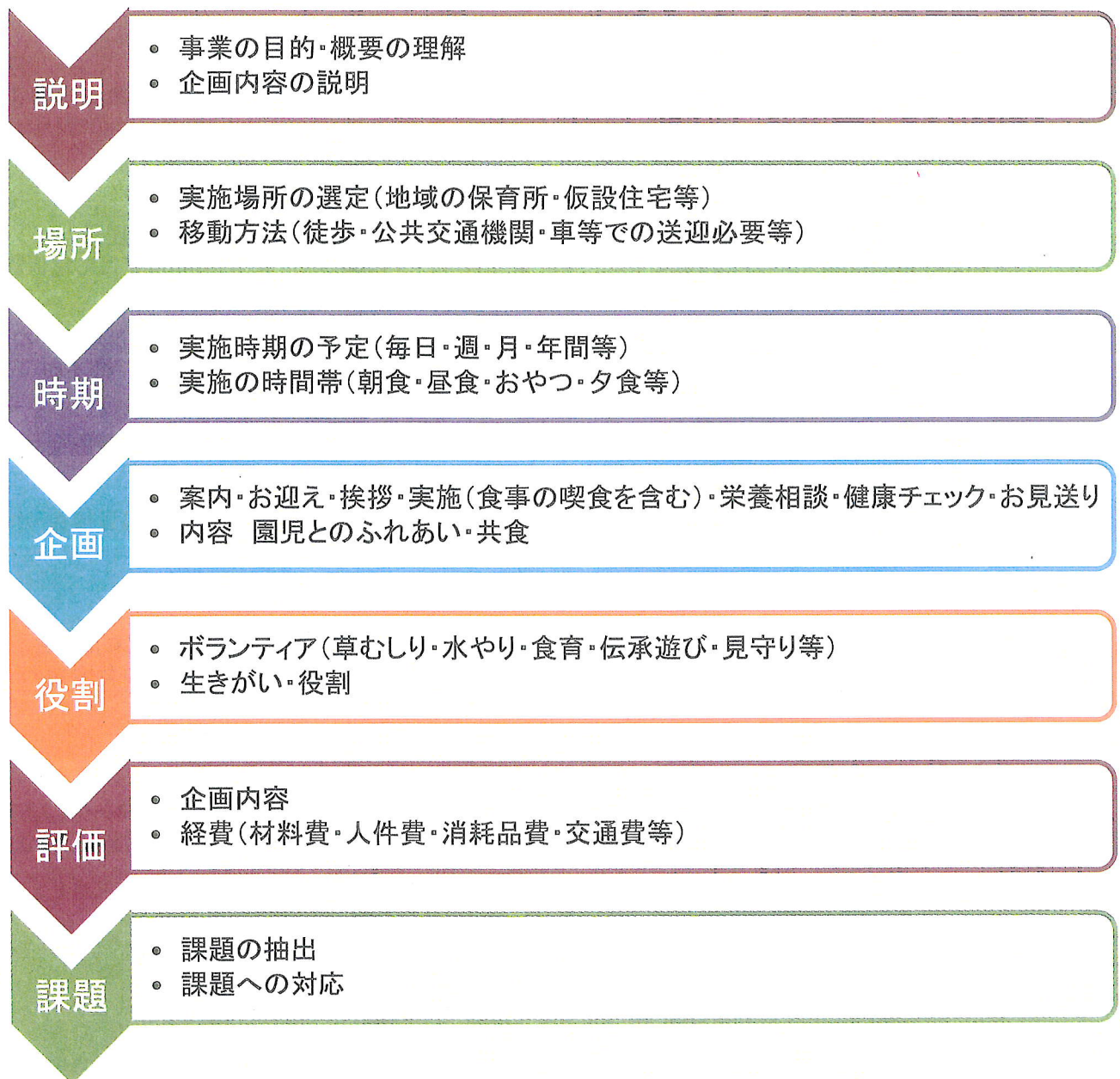
本取組の成果を元に、①開催時季・実施回数、②高齢者の役割、③保育園の行事日以外での開催 等について検討し、さらに取組を深めたい。また、東北に限らず全国における事業展開に向け、他地域への普及活動も実施し、取組を拡げたい。

III 実施体制

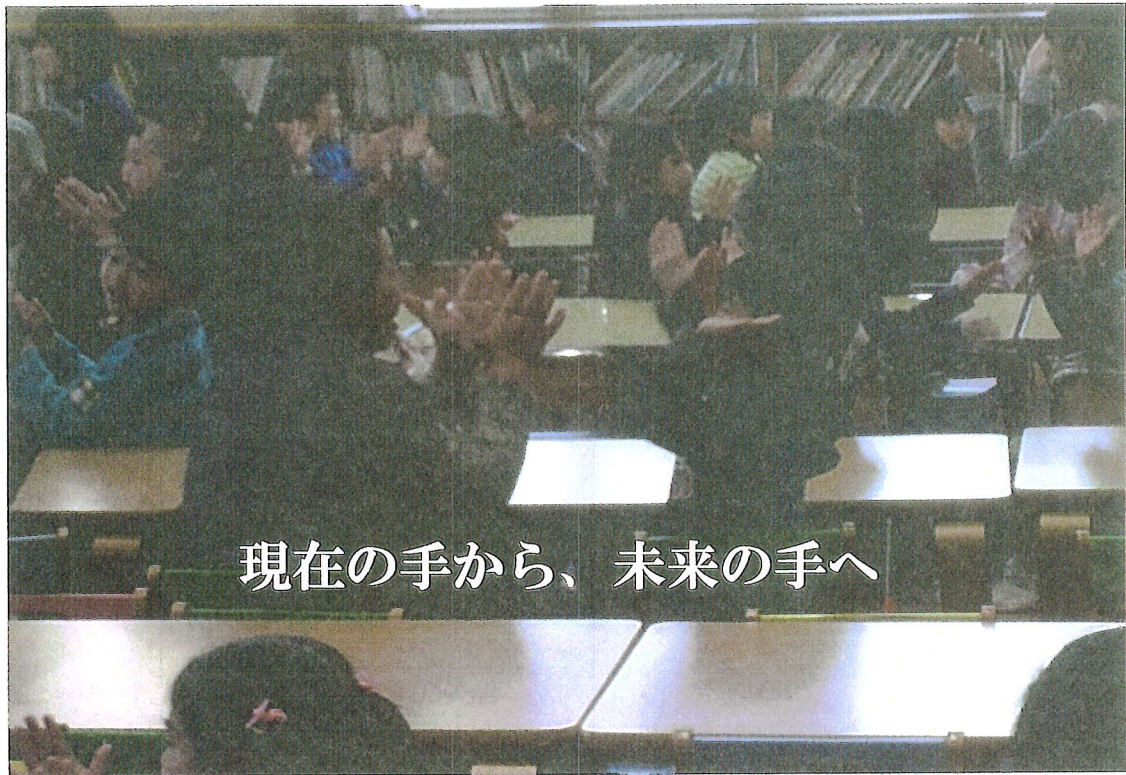


IV 実施・活動記録

事業実施までの流れ(概略)



	岩 手		宮 城	福 島
保育所	野田村保育所	あつふる保育園	尚綱学院大学附属幼稚園	いわき福音協会 小島保育園
ファースト コンタクト	岩手県庁	日本栄養士会 福祉事業部	宮城県栄養士会	日本栄養士会 福祉事業部
保育所の 選出法	県庁担当者からの対象地域保健所への呼びかけ、提案	福祉事業部担当者から関係園への呼びかけ、提案	県栄担当者の関係園への呼びかけ、提案	福祉事業部担当者の関係法人への呼びかけ、提案
対 象	泉沢地区応急仮設住宅 野田村野田仮設団地	下荒井町内老人会	愛島仮設	檜葉町住民 作町1丁目応急仮設住宅
協力機関等	久慈保健所、野田村	下荒井町自治会	学校法人 尚綱学院 (ボランティアセンター含む)	社会福祉法人いわき福音協会、檜葉町
コーディネータ	久慈保健所	宮城県栄養士会	宮城県栄養士会	いわき福音協会
企 画	野田村保育所	あつふる保育園	尚綱学院大学附属幼稚園	いわき福音協会・小島保育園
企画サポート	岩手県庁 岩手県栄養士会 野田村 食生活改善推進員	宮城県栄養士会	宮城県栄養士会	福島県栄養士会 いわき福音協会
対象への 呼びかけ	園児作成の招待状 仮設住宅への直接的声掛け 野田村からの声掛け 参加者同士の声掛け	自治会長からの声掛け	ボランティアセンター、コーディネータからの声掛け	コーディネータによる声掛け 園児作成の招待状
具体的内容	昼食の共食 手遊び ダンス披露 歌披露 食育講座 栄養相談 血圧測定 体重測定	昼食の共食 芋煮会 焼き芋大会 ダンス披露 歌披露 食生活の聞き取り	ピザ作り 昼食の共食 歌披露 手遊び 食生活の聞き取り	餅つき大会 昼食の共食 弁当提供 クリスマス祝会鑑賞 伝承遊び 紙相撲大会 食育講座 栄養相談
参加人数	延べ35人	延べ22人	延べ20人	延べ28人



平成26年度 復興庁 「新しい東北」先導モデル事業

保育所を活用した生活不活発病防止給食受け取りシステムの構築
〈ほっこり食事プロジェクト〉

報告書〈ダイジェスト版〉

発行:公益社団法人 日本栄養士会

〒105-0004 港区新橋5-13-5 新橋MCVビル6階

TEL. 03-5425-6555 / FAX. 03-5425-6554

URL. <http://www.dietitian.or.jp>

発行日:平成27年3月31日
